

2019年度事業報告

当協会は、横浜港で働く方々の福利厚生面での充実を図るため、食堂、給食(弁当)、売店、住宅、会議室等の管理運営等各種事業を積極的に進めてまいりました。

2019年度の主な取り組み内容は、次のとおりです。

(1) 食堂、弁当の価格改定等

- ・食堂のメニューを充実するとともに、利用者へのサービス維持と健全な事業運営を目指し、2020年1月より販売価格の改定を行いました。
- ・給食(弁当)については、メインを洋風または中華・和風の2種類から好みに応じて選べるようにしました。また、大盛りランチを新規販売しました。
- ・大黒厚生センター内波止場食堂つばさ店において厨房床・客席内装のリニューアル工事を行い、厨房内の衛生改善と利用者の利便性向上・イメージアップを図りました。

(2) 住宅の利用者ニーズ対応への取り組み

- ・利用者ニーズに応えるため、昨年度に引続き本牧ポートハイツ小世帯用住宅の洋室化工事を行ったほか、入居要件の見直しを行い、本牧地区の世帯者用住宅を抽選住宅から常時受付住宅に変更しました。

主要業務の概要

(1) 食堂・給食(弁当)・売店利用状況

① 食堂事業

前年度と比較し、約4万4千人減少し、約55万5千人となりました。

- ・毎月18日を「波止場の日」とし、特別メニューを提供すること等により、利用促進を図っております。

2019年度	2018年度	増△減	備考
555,458人	599,267人	△43,809人	直営5店舗 出店業者2店舗

② 給食(弁当)事業

前年度と比較し、約1万9千個減少し、約19万3千個の販売となりました。

- ・会員企業を中心に、顧客開拓を図っております。

2019年度	2018年度	増△減	備考
193,251個	212,540個	△19,289個	

③ 売店事業

前年度と比較し、約5千人減少し、約68万5千人の利用となりました。

2019年度	2018年度	増△減	備考
684,498人	689,617人	△5,119人	5店舗

(2) 住宅事業

前年度と比較し、21件減少し、951件の契約となりました。

2019年度	2018年度	増△減	備考
951件	972件	△21件	

(3) その他

① 貸会議室

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2020年3月以降万国橋会議センター・波止場会館とも休業としたため、前年度と比較し、約160件減少し、約5,000件の利用となりました。

2019年度	2018年度	増△減	備考
4,976件	5,133件	△157件	2施設

② 契約保養所

前年度と比較し、約600人減少し、約8,000人の利用となりました。

2019年度	2018年度	増△減	備考
8,017人	8,610人	△593人	

③ 慰霊祭等

開港160周年横浜港港湾労働者供養祭を2019年5月31日に、象の鼻パーク内、横浜港港湾労働者供養塔前において執り行いました。開港160周年という節目の年であることから市民の方々にも参列を呼びかけ、約600名が参列いたしました。

また、第56回横浜港関係者合同慰霊祭を、2019年10月4日に久保山霊堂において約400名の参列者により執り行いました。

④ レクリエーション等

全横浜港湾労働組合連合会主催の運動会やサマーフェスティバル等に後援いたしました。

⑤ 講演会

東京湾交通問題懇話会が主催、横浜市幹線道路網建設促進協議会及び当協会が共催し、株式会社小西美術工藝社代表取締役社長のデービッド・アトキンソン氏を講師に迎え、特別記念講演会を2019年12月4日に開催いたしました。

⑥ 広報紙等

会員の情報提供の一環として、「はまかぜ」を年2回、2019年7月1日と2020年1月1日に発行いたしました。